

県立病院機構評価に係る評価指標ワーキンググループについて

1 概要

評価指標に関するワーキンググループを設置し、評価の指標と計画値を検討
病院機構は、それらの案を第4期中期計画へ反映するよう検討

2 これまでの課題、それに対する対策及び期待される効果

(1)課題

実績報告書別冊の項目のうちおおよそ8割が年度計画の文章を用いており、評価の基準が曖昧なため、厳密さに欠ける評価になっている。また、評価委員から、「分量が多くて確認するのが困難な資料がある（別冊）」との声がある

(2)対策

評価指標を定める（第4期の中期計画に指標及び計画値を入れる）。

| 指標 | 計画値 |
|---------|-----------|
| ①経常収支比率 | 100% |
| ②検診件数 | 前年より件数が増加 |

※評価項目全体のうちどこまでを定量的な評価にするかは要検討
・上記に併せて、実績報告書（別冊？）を簡略化

(3)効果

- ①評価基準の明確化により、評価結果に基づくPDCAサイクルをより効果的に回せるようになる。
- ②評価が簡潔になるため、業務実績報告書の作成が省力化できる（例：別冊の廃止）

3 ワーキンググループ（以下、「WG」とする。）の設置目的及び構成

(1) 目的

- ①上記課題について、令和4年度第3回評価委員会で行った議論をより深める
- ②指標や計画値が妥当かどうか（PDCAサイクルが効果的に機能するような指標・計画値の設定になっているか等）について、専門的な観点からの意見
→作成された案を第3回評価委員会で報告

(2) 構成

| 構成員（構成員の担当指標） | 構成員氏名 |
|-----------------|----------------------|
| 座長・評価委員 | 小口 壽夫（諏訪赤十字病院名誉院長） |
| 評価委員（経営関連指標） | 鮎澤 英之（あがたグローバル税理士法人） |
| 評価委員（医業関連指標） | 川合 博（前伊那中央病院院長） |
| 評価委員（医業・経営関連指標） | 浜田 淳（川崎医療福祉大学） |
| 評価委員（医業関連指標） | 宮坂 佐和子（長野県看護協会） |
| 病院機構（医業関連指標） | 濱野 英明（木曾病院院長） |
| 病院機構（経営関連指標） | 日向 修一（県立病院機構本部事務局長） |
| オブザーバー | 打田 憲司（諏訪赤十字病院） |

（裏面に続く）

4 今後のスケジュール案

第2回評価委員会(8月22日)

第1回評価指標WG

→事前に事務局素案を送付し、それに対する意見をお聞きする

第2回～第3回の間

●必要に応じオンライン等でWGを開催

●事務局素案を修正後、WG構成員以外の評価委員へ送付して意見照会

第3回評価委員会(2月)

①第2回評価指標WG(評価指標案の決定)

②評価委員会にて、第4期評価指標案を提示する

(中期目標・計画の検討状況にあわせ、令和6年度の評価委員会でも適宜見直し)